

## 越中福岡の菅笠製作技術保存会通信

【発行】越中福岡の菅笠製作技術保存会

〒939-0192 高岡市福岡町大滝 12 高岡市産業振興部 地域振興交流課内

TEL.0766-64-1426 FAX.0766-64-0566 <http://sugegasa.web.fc2.com>

## 3年ぶりの対面総会開催！

6月30日（木）福岡支所3階大会議室で、令和4年度「越中福岡の菅笠製作技術保存会 総会」を開催しました。令和元年度以来、3年ぶりの対面総会となり、29名（委任状85名）が出席しました。

令和4年度の事業計画として、菅笠製作技術者の後継者育成、若い世代の参加を促すためのワークショップ等の実施、高岡市と協力して、菅笠づくり講座の開催、笠骨づくりマニュアル上級編の制作を行うこと等が承認されました。

令和3年度の役員退任に伴い新役員が選任されましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として書面議決を行っ



令和3年度 笠骨職人育成継承者、菅笠づくり講座研修生の作品を展示しました。

たため、会員の皆様の新役員の紹介が出来ませんでした。ようやく今回の総会で村本孝義新会長から「菅笠は高岡における誇りある伝統工芸品であり、伝統の火を消したくない。皆様と活路をみつけていきたい」と、会員の皆様に思いを伝え、新役員の紹介と挨拶を行う事が出来ました。

感染予防対策にご協力いただき、総会にご出席下さいました会員の皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。



令和3年度に会長を退任し顧問に就任した城山孝さんから、「会員の皆様の心をついて、今後とも村本会長を中心に菅笠の発展のため、ご協力とご尽力を賜りたい」と挨拶がありました。

笠骨職人育成事業  
「菅笠製作技術後継者審査委員会」

3月10日（木）福岡支所3階大会議室で、令和3年度 菅笠製作技術後継者審査委員会が開かれ、第5期生の堤真知子さん、第6期生の菊地裕美さん、第7期生に応募した中居望さんの面接と審査を審議し、堤さんと菊地さんは継続、中居さんを新たに継承者として選定しました。

菊地さんは「一人で笠骨と笠縫いの製作が出来たら新しい笠を作れるのではないか。今後も続けて姿の良い笠を作りたい」と意欲的でした。

中居さんは「幼い頃から笠縫いが身近にあった。菅笠は用の美であるが、工芸品として価値が上がるような物が作れたらと思っている。基本がないと提案出来ない」と、応募の動機を伝えました。

委員からは、「どの笠骨も出来が良いが、笠縫いのノズケがしやすいように爪をもう少し削ると良い」という意見がでました。

新型コロナウイルス感染予防対策を行い、菊地さんは素材を無駄にしない作り方を重視した笠骨づくり、中居さんは初の三度笠等の曲げ加工にチャレンジします。



育成者の中嶋尋之さんと、6期生の菊地さん。令和3年度は13種類各5蓋製作しました。



・写真左/5期生の堤さんは根を詰めすぎて腰痛に…。療養後は研修再開の予定です！  
・写真右/審査の様子。中骨の曲げ加工、外輪骨の巻止め等を確認しています。



## 令和3年度「菅笠づくり後継者育成講座」修了

コロナ禍で2カ月遅れでスタートし、令和3年度10月から6カ月間行われた「菅笠づくり後継者育成講座」(高岡市主催)が、令和4年3月に無事修了しました。

「笠骨づくり講座」では、角笠・富士笠・浅山笠・一文字笠・立山笠を製作しました。初受講生の受講6カ月目の感想に、「一人で出来る工程が増えた」「工程を考えながら進められた」「理屈が分かれると面白い」と書いてあり

ました。回を重ねるごとにもしっかりと上手になりたいという熱意が伝わり、黙々と竹を割り、削っていました。

「笠縫い講座」では、立山笠・正月飾り笠・富士笠・角笠を製作しました。受講3年目の受講生はヘルメット笠の製作も行いました。受講生の感想には、「ノズケ糸が斜めになりやすく、隙間が出来やすいので注意したい」「ノズケ時の指先の

### ◆笠骨づくり講座



- ・写真左/講師の中嶋尋之さんには、受講生が使用する小刀の手入れ、竹の準備、丁寧な講評等、大変お世話になりました。11年間、ご指導くださりありがとうございました。
- ・写真中央/中骨6本と7本の、頭止めの違いを指導をしています。
- ・写真右/3月は小骨を作りました。講師の城山孝さんが、ナタの使い方等を指導しました。

### ◆笠縫い講座



- ・写真左/受講生のペースに合わせて、指導をしています。
- ・写真中央/ヘルメット笠のノズケのコツを伝授。内側から見ても美しい笠を目指します。
- ・写真右/仕上がった笠の「管選り、シカケ、ノズケ、頭止め」をチェック!

## 令和3年度 笠縫いマンツーマン指導



令和3年4月に、福岡支所1階 菅笠展示コーナーの畳スペースで、笠縫いマンツーマン指導を行い、受講生の梶浦フミ子さんに、講師の松平カヅミさんが、角笠(1尺6寸)のシカケ・笠縫い・頭止めを指導しました。講師の松平さんは梶浦さんの隣で同じ笠を縫い、手本を見せます。梶浦さんが仕上げた角笠はとても美しく、「針目を揃えて縫えています。頭止めもよく出来ています」と高評価でした。

### ◆福岡支所 3階大会議室で、笠骨づくり・笠縫い講座を行いました



- ・写真左/「笠骨づくり」全17回(1回3時間程)、初受講4名を含む7名が受講。講師:中嶋尋之さん、中山孝志さん、城山孝さん(小骨づくり)
- ・写真右/「笠縫い」全20回(1回5時間)、初受講2名を含む7名が受講。講師:橋本レイ子さん、茂古沼真知子さん

の使い方を上手く出来るように考えたい」とあり、講師にノズケのコツを聞く受講生が多くみられました。

丁寧にご指導くださいました講師の皆様、6カ月間ありがとうございました。

令和4年度は8月から開講します。講座見学は随時可能ですので、お気軽にお問い合わせください!(TEL.64-1426)

## 上向田ふれあい交流会 菅笠講習会

令和4年3月27日(日)上向田集会場で「上向田ふれあい交流菅笠講習会」が行われ、宮崎光子さんが13名に角笠と花笠の笠縫いを指導しました。今回は初参加の方もおられ、菅笠の継承に繋がる講習会となりました。



## 三井アウトレット「GEIBUN CURATION 展」 ミニ菅笠づくり体験等の協力



伝統・現代・革新的な様々な菅笠を展示。



- ・11日(土) 菅笠づくり実演が行われました(実演：中山孝志さん)
- ・18日(土) 菅のコースターづくり体験が行われました(指導：菅っこメイト指導)。

福岡支所から車で10分程のところに、大きな観覧車が目印の三井アウトレットパーク北陸小矢部があります。その2階の Meets GEIBUN で令和3年12月4日(土)～19日(日)「第5回企画展 GEIBUN CURATION 展 富山大学 芸術文化学部キュレーション領域による、菅笠活性化プロジェクト」が開催されました。

富山大学芸術文化学部キュレーション領域文化政策論ゼミが取り組む「菅笠プロジェクト」は、越中福岡の菅笠の支援を目的としており、菅笠産地の調査や体験、交流を通して新たな振興策を企画実施しています。ゼミの学生たちはスゲの刈り取り(菅田づくり体験講座に参加)や菅笠づくりを体験し、菅笠製作の新しい体験メニューの開発などを進めてきました。

今回、展示協力として福岡支所に展示している世界で2番目に大きな大野笠や、富士笠などの菅笠、笠骨などを貸し出しと、ミニ菅笠づくり体験講師の派遣を行いました。

親子で訪れる来場者が多く、特に小学生の男の子が菅笠に興味を持ってくれました。染色した菅を使った帽子タイプの菅笠マカロンを見た児童は、「すごくカッコいい!いろいろな菅笠があって面白い」と目を輝かせていました。



オープニングの4日(土)に、ミニ菅笠づくり体験が行われ、橋本レイ子さんと松平カツミさんが指導しました。直径181cmの大きな菅笠を見た後にミニ菅笠を見ると、小さくて可愛い!

## 映え菅笠コンペの審査協力

令和4年3月19日(土)～21日(月・祝) 御旅屋セリオ2階のZIBA(高岡地域地場産業センター)で、伝統工芸まつり「越中福岡の菅笠展示会」が行われました。

「映え菅笠コンペ」コーナーでは、富山大学芸術文化学部と高岡工芸高校の学生が、紙製の笠を用いてオリジナル模様を描いた43作品が並びました。18日には、村本孝義会長がコンペの審査員として出席しました。



- ・「映え菅笠コンペ」作品は、鯉をイメージしたもの、ピザやラーメンを描いたもの、トランプを貼ったものなど「菅笠に彩りを」をテーマに制作されました。
- ・会場前には、直径183cmの世界で1番大きな菅笠(製作…笠骨：城山孝さん・笠縫い：城山ミキさん)と一緒に撮影出来るコーナーがありました。



## 笠骨づくり マニュアル2 完成しました

撮影と編集協力をした「越中福岡の菅笠 笠骨づくりマニュアル2(高岡市制作)」(DVD)が完成しました!

今回は炭火で曲げ加工を施した富士笠の笠骨づくりと、尺竹の作り方をわかりやすく説明しています。

撮影にご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。



## 撮影協力 ありがとうございました!

- ◆チューリップテレビ「ニュース6」1/21(金)放送
    - ・笠骨づくり 中嶋尋之さん(中嶋さん工房)
    - ・笠縫い 橋本レイ子さん(橋本さん宅)
  - ◆ケーブルテレビ富山「新ブライド 越中福岡の菅笠後継者 中山煌雲」1/15(土)～21(金)放送
    - ・笠骨づくり 中山煌雲さん(中山さん宅)
    - ・笠骨づくり講座 中山さん、中嶋尋之さん、受講生の皆様(福岡支所 3階大会議室)
    - ・笠縫い 城山ミキさん、越後喜代さん(越後さん宅)
- ★撮影に協力してくださいました皆様、ありがとうございました。

## 菅笠づくり実演、展示・菅笠ペーパーお絵描き体験



### ◆菅笠づくり実演

- ・笠骨づくり実演：中山孝志さん
- ・笠縫い実演：午前 橋本レイ子さん  
午後 茂古沼 真知子さん



### ◆菅笠ペーパーお絵描き体験

- ・写真A/当日の様子。講師：でこりんさん、中山有希子さん
- ・写真B/UFO笠と猫耳笠。
- ・写真C/男女問わず、人気のあった兜笠。
- ・写真D/ニコリ笑顔の動物を沢山描いてくれました！
- ・写真E/仕上がった笠をかぶって山町筋を散策♪
- ・写真F/お絵描き教室作品展。笠が山になったり、楽器になったり！子供たちの自由で豊かな発想に、感動しました。

5月1日(日)山町筋の「山町ヴァレー」で、菅笠づくり実演と菅笠の展示、菅笠ペーパーお絵描き体験を行いました。5月1日はユネスコ無形文化遺産に登録されている「高岡御車山祭」が毎年行われる日です。残念ながら今年の奉曳は、雨の為中止となりましたが、たくさんの方が山町筋を訪れました。

菅笠づくり実演では、高岡御車山祭で麻裯(あさかみしも)に身を固めた山役員が被る「一文字笠」の笠骨づくりと笠縫いを行い、来場者に菅笠づくりの伝統の技を間近でみてもらうことができました。

菅笠ペーパーお絵描き体験は、60組の参加がありました。紙で出来た菅笠に、マジックやクレヨンなどでお絵描きしたり、リボンを貼ったりして、猫耳笠・UFO笠・兜笠等を作りました。

イラストレーターでこりんのお絵描き教室 作品展(5/1～5/8 展示)では、教室に通う子供たちが菅笠ペーパーにお絵描きした作品51点を展示しました。鮮やかでユニークな笠が並び、こんな菅笠被ってみたい!と思いました。

お足元の悪い中ご来場下さいました皆様、ありがとうございました。



### 令和4年度 菅田調査

6月1日(水)に、越中福岡スゲ生産組合の村本孝義組合長(菅笠保存会長兼任)、城山孝顧問、中山有希子理事、事務局員2名で、令和4年度菅田面積調査(高岡市実施)を行いました。

昨年同様に、菅田栽培面積が減少傾向にありました。菅栽培に興味がある方が気軽に参加できる体験を実施しております。一人でも多くの方に菅に触れて頂きたいので、お気軽にお問合せ下さい。(TEL.64-1426)

HARITA METALS

# We create.

私たちは、つくる。

人間が作り出したもの、生み出したもの、  
そして、社会を回り、運んでくるものたちを、もう一度、「素材」にする。  
それが、私たちハリタ金属の仕事。



ハリタ金属株式会社 本社 〒939-0135 高岡市福岡町本橋1053-1 TEL 0766-64-3516  
株式会社ハリタメタルセンター 金沢工場 富山工場



法人会員募集中 年2回発行の保存会通信に広告を掲載します。  
お申込み・お問い合わせは事務局(☎0766-64-1426)まで